

郵便  
報知新聞  
第五百五十二号

大坂船越町小骨接と業とを松本  
 といと呼ぶ婦人あり年猶廿六才なるが  
 日頃より柔術も長し其妍  
 さを以て人其勇を知るもの也近き  
 頃隣家の娘と連色へ長柄川の  
 堤を過りしに川風寒きかゝれ  
 時四人の荒男躍り出で  
 隣家の娘と二人へつゝ取  
 強はるゝと爲せしむれ  
 大に怒り組付る一人を水中  
 投てし又一人を撞し隣の娘と押  
 臥て上へまゝ一人の領髪とつて  
 捨倒し拳を堅めて人の眼の辺を  
 打たれ何れも逃散す



彫工 銀

大坂 船越町